

1 研究の概要

(1) 研究主題

新学習指導要領の趣旨を踏まえた中学校社会科の授業の質的改善

(2) 研究の目標

新学習指導要領の趣旨を踏まえて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた中学校社会科の授業の質的改善を図るまでの道筋を明らかにし、授業を見直し質的改善につなげるための方法を提案する。

(3) 研究方法

- ア 中学校社会科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究及び実態調査
- イ 理論研究及び実態調査を踏まえた授業改善の視点と手立ての策定
- ウ 「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的改善を図り、構想した授業の実践
- エ 授業実践を通した生徒の変容の分析・考察
- オ 授業改善の視点と手立ての有効性の検証

(4) 研究内容

- ア 中学校社会科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究を行い、生徒の実態を調査します。
- イ 理論研究と生徒の実態を基に、従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点から見直し、生徒の実態に応じた改善の手立てを探ります。
- ウ 従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点で見直しを図り、授業展開案、ワークシート、教材等を作成し、研究委員の所属校で検証授業を行います。
- エ 検証授業及び単元全体を通した生徒の変容を分析・考察し、改善の視点や手立ての効果を検証します。
- オ 授業改善の視点と手立てを一般化し、汎用性のあるものにして、質的改善を図るための方法を明らかにします。

(5) 1年次の成果と課題

ア 研究の成果

- ・学習指導要領をはじめ様々な文献調査を基に、求められている三つの資質・能力について明らかにすることができました。
- ・授業の質的改善を図るために目安として、教師の指導の実態を振り返る「チェックリスト」と「教師の手立て表」の試案を作成することができました。

イ 研究の課題

- ・日々の授業を、「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的改善を図っていったことで、生徒の資質・能力の育成につながったと考えます。ただ、これで終わりではなく、単元ごとに生徒の実態を捉え直しながら継続して取り組んでいく必要があります。
- ・教師の指導の実態を振り返る「チェックリスト」と「教師の手立て表」については、それぞれの関連付けが課題であり、表の項目についても、様々な生徒の実態や教師の指導方法を想定しながら検討する必要があります。